

I 単元指導計画と評価規準（4観点）、学習指導案 【科目 家庭基礎】

1 単元・小単元	第8章 経済生活を営む ⑥これからの消費生活と環境 （2）消費者としてできること
2 小単元の目標	消費者市民社会の中で、消費行動における意思決定がやがて社会を創造することにつながることを理解し、環境に配慮した選択を持続的に行う重要性を認識する。
3 育てたい資質・能力	消費生活分野に関するアンケートを実施した結果、クレジットカードの仕組みやインターネットでの買い物、〇〇PAYの仕組みなどの関心は高いが、消費者の権利と責任や消費行動における意思決定、環境ラベルについてなど、自立した消費者を目指すための内容については関心が低いことが分かった。一人ひとりが人や社会、環境に配慮した物やサービスを選んで消費することで、社会を変える力があることに気づき、自分のできる「エシカル消費宣言」をすることでSDGsの目標12「つくる責任、つかう責任」の達成につながるよう指導していきたい。

4 単元の評価基準

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	学習活動における具体的評価規準				評価方法等
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
①職業生活を設計する (1) 経済的に自立する (2) 長期の職業設計	経済的自立と職業設計の必要性を知らせる。	雇用に関する新聞記事や職業インタビューなどを通して、将来の職業生活について考える。	1	①職業について考えようとしている。	①自分の職業生活について考えることができる。			ワークシート 授業態度 定期考査
②計画的に使う (1) 収入と支出を知る (2) 家計のマネジメント	お金を正しく管理する方法を知り、家計管理と経済計画の必要性を理解させる。	家計簿を使って、家計の収支のバランスについて考える。	1		②家計簿シミュレーションをもとに、収支のバランスや家計管理について考えることができる。	①家計簿を正しくつけることができる。		ワークシート 授業態度 家計簿 定期考査
③国民経済・国際経済と家庭の経済生活	消費者、家計と経済の関わりについて理解するとともに、消費行動が経済に影響していることに気付かせる。	レシートを用いて小遣い帳を書かせ、お金やもの、サービスの流れを知る。また、自分自身の消費行動が経済に影響していることに気付く。	1	②経済について興味をもつ。			①家計と経済のつながりや、家計の特徴について理解している。	ワークシート 授業態度 定期考査
④消費行動と意思決定	消費者として適切な意思決定を行い、責任ある消費行動をとろうとする態度を養う。 生活情報の種類と役割について考え、正しく取捨選択し利用できるようにする。	新生活に必要な物品の購入を題材にし、意思決定のプロセスを作成し、自己判断・自己決定することは責任を伴うことを知る。 商品を購入する際、どのような情報をもとにしているのかを話し合い、それらを正しく選択する必要があることを知る。	3	③消費者として適切な意思決定をしようとしている。	③生活情報の収集にはいろいろな方法があることを、日常生活から考えることができる。		②消費者として適切な意思決定を行うことの重要性を理解している。	ワークシート 授業態度 定期考査
⑤現代の消費社会 (1) 契約と契約トラブル (2) 消費者をめぐる問題	現代の消費生活の特徴を知り、複雑化・多様化している販売方法と支払方法について理解させる。 消費者トラブルについて理解し、トラブルに遭わないための予防策や対処法について考えさせる。	サービス化され、消費行動が多様化・複雑化されていることを知る。 ロールプレイやディベート、DVD視聴などを通して、消費者トラブルの原因や対処方法、また予防策について知る。	1 1	④ロールプレイから、消費者トラブルについて考えようとしている。	④自分の消費行動を振り返り、今後の消費行動について考えることができる。 ⑤ディベートから、消費者トラブルの原因や対処法について、具体的に考えることができる。		③現代の販売方法や支払方法について理解している。 ④消費者トラブルの原因や対処方法、また予防策について理解している。	ワークシート 授業態度 小テスト 定期考査 実習態度
⑦これからの消費生活と環境 (1) 持続可能な社会を目指して (2) 消費者としてできること	循環型社会を実現させるためには、私たちの消費行動が影響しているため、環境負荷を与えない工夫や行動につい	身近に発生している環境問題について考え、循環型社会について学ぶ。 また、調べ学習を通して、資源や環境に配慮した生活ができるための	1			②環境負荷の少ない生活を送ることができる。	⑤循環型社会に必要な3Rや、法律や制度について理解している。	ワークシート レポート 授業態度 定期考査

	て理解させる。	工夫や行動ができる。	1	⑥自分の消費行動を振り返り、環境負荷を与えない工夫について考えることができる。			
総時間数			10				

5 学習指導案

科目名	家庭基礎	クラス	3年	使用教科書	家庭基礎（東京書籍）
単元名	第8章 経済生活を営む ⑥これからの消費生活と環境 (2) 消費行動における意思決定				
本時の主題	消費行動における意思決定を的確に行い、優先順位を踏まえた消費行動を考えることができる				
本時の目標	優先順位を考えた消費行動ができるようになるう！ ～新生活を始めるのに必要なものを選び～				
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価について	教師の指導	
導入 5分	・前時のふりかえり	・個別に考えた、新生活に必要なもののリストを準備する。(manabaの起動) ・グループに分かれ、話し合いの準備をする。(manabaのプロジェクト機能の活用)	〈評価方法〉 ・manabaで保存された学習プリント ・自己評価		
展開 40分	グループ活動 ① (15分)	・グループ内で同じ意見のものは、セルの色をグループの意見の色に変える。 ・少数意見の物は、それを選んだ人の思いを聞きながらどうするか考える。	〈評価方法〉 ・行動観察 ・生徒同士の相互評価 ・自己評価	・グループ内での少数意見も大切にできるように指導する。	
	グループ活動 ② (15分)	・選んだものの金額を合計し、新生活を始めるために必要な金額の決定を行う。 ・合計金額が30万円以内になるようにとの指示を受け、改めて取捨選択をし、最終決定を行う。 ・各班ごとに金額をホワイトボードに記入し、発表の準備をする。	○評価規準 【思考・判断・表現】 ⑥自分の消費行動を振り返り、今後の消費行動について考えることができる。 〈評価方法〉 ・manabaで作成したグループ用のシート ・生徒同士の相互評価 ・自己評価 ・行動観察 〈Aの例〉 積極的に話し合いに参加し、自分の意見を伝え、なおかつ相手の意見を受け止め、認めることができる。	・必要だと思った物の合計金額を計算した後もう一度吟味し、最終決定をするよう指示を出す。 ・「30万円以内にする」という金額の縛りを入れ、本当に必要なものを吟味するよう指示を出す。 〈Bを実践するための指導〉 ・他の生徒の考えを知ること、価値観の違いがあることに気付かせる。 〈Cへの手立て〉 ・個別に確認し、一緒に考える。	
	・発表 (10分)	・各グループの代表が、活動の結果を発表する。 ・発表者以外の生徒は、発表内容で気付いたことなどを記録する。	〈評価方法〉 ・行動観察 ・学習プリント	・グループ内で意見が喧れたものや、価値観の違いや少数意見についても発表することを助言する。	
まとめ 5分	・本時のまとめ	・本時の内容をふりかえり、目標が達成できたか確認する。 ・学習プリントに、感想を記入する。	〈評価方法〉 ・学習プリント ・自己評価		

□工夫している点

- ・当初、MetaMojiの付箋機能とグループ活動機能を使って授業を行うことを考えたが、manabaではワードやエクセルのワークシートがそのまま活用できることを知り、今回の授業ではmanabaの活用をすることにした。エクセルのワークシートを使用することでセルの色を変えることや、昇順・降順などの並べ替え、合計金額の計算が簡単にできるようになっている。
- ・今回はプロジェクト機能のない被服教室での実施だったため、各班の発表内容をホワイトボードに記入し発表したが、これをMetaMojiで行えば、モニタリングもでき、オンライン授業でも簡単に画面共有や発表ができ、グループ学習ができるので、今後も効果的にICTの活用をしていきたい。

□実践後の評価結果

	学習活動における具体の評価規準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評 価	<ul style="list-style-type: none"> グループで協力し、適切な意思決定をしようとしている。 商品を購入する際、どのようなことを重視して購入すればよいかを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者として適切な意思決定を行うことの重要性を理解している。 課題を自分事としてとらえ、積極的に自分の意見を伝え、さらに相手の意見を認め、積極的にグループの意見をまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容を理解することが難しく、自分の考えをまとめることができない。
生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだことをもとに、自分の考えをまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだことを自分事としてとらえ具体的にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに自分の考えをまとめることができない。
記 述 例	<ul style="list-style-type: none"> 本当に新しいものが必要なのか、今必要なのかを考えて購入することも大切だとわかりました。 自分と比較をしてみて、同じ考えや異なる考えがあって、知識を増やすことができた。 グループで話し合うことで、「なるほど!」と思う部分があったので良かった。 一人暮らしには必要なものがたくさんあり、お金がたくさんかかることを知りました。 自分と価値観が違う人がいた、話していて楽しかった。もっと話してみたいと思った。 本当に必要か、繰り返し使えるか、長く使えるかを総合的に考えて意思決定を行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで話しあった時に、トイレットペーパーなどの日用品を描いている人が少なく、当たり前すぎて盲点になっているものがあることがわかった。掃除機をコロコロやクイックルワイパーで代用すると安くできるという意見も出てよかった。 本当に必要なものなのか考え、長期にわたって使用できるものかなどを考えて購入することが大切だと思いました。 人それぞれ必要なものが違って面白かったし、その中でも必ずいるものとか、あとで購入してもよいものなどを区別することができてよかった。 その時の感情で何も考えずに買うのではなく、未来を見据えて計画的に商品を選ぶことが大切だと思います。僕はコストとリターン(得られる見返り)を天秤にかけて、リターンの方が大きい時にものを選ぶようにしています。 自分の収入に見合った生活をするのが大切だということを学びました。新生活に必要なものには優先順位があることがわかった。 値段や便利さだけではなく、繰り返し使えるものや環境にやさしいものを選ぶことが大切だと思います。 本当に必要か、環境に良いかなど、買う前によく考えて、買った後のことも考えて意思決定をすることが大切だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> とても今後のためになった。 将来の新生活に活かしたい。

□授業後の課題と改善

今回、「家具・家電」と「生活用品」の両方を取り上げたため、時間を要した。「家具・家電」に絞って検討する活動でもよかったのではないかと反省をする。購入するものを考える時には自分目線で、今回の活動はお金を出す親の立場で考えてみるように指示をしたことで、限られた金額の中で考えることへの意識付けができたのではないと思う。活動の途中で予算は30万円と設定して、見直しをすることはよかったが、金額を減らすことばかりに意識がいきってしまい、なぜ減らすのか、何で代用できるのかなどを時間内に提示できず、次の授業の時に持ち越してしまったことが課題である。しかし、今回生活用品を含めて考えたことで、男女で必要なものが異なることや、価値観の違いに生徒が気付くことができた点はよかったと考える。